

自粛期間とその後の活動及び考えたこと

新型コロナウイルスの影響により、外出自粛が長期間要請されました。

今号では、各々がその間やその後の活動をどうされたのか、及びどのように考えられたかを書いて頂く特集号といたしました。

《睦会の活動》

睦会 横山 具佳

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、蔓延する可能性も否定できないことから、例会・催事は4月～8月まで中止を決めていました。定期総会資料は金銭のこともあるので、作成し会員に配布しましたが、総会は行っていないです。また4月～6月の活動はしていません。各自外出自粛を守り、日々工夫して過ごされたようです。

6月に入ってロードマップもステップ3になり、また6月19日には全て解除になり、ようやく自由が戻ってきます。しかし東京アラートが発せられたこともあり、油断せず慎重に行動をとりたいものです。

外出自粛は解除になりましたが、例会再開は未定です。

《新型コロナ騒動》

日本人の倫理》

ねりまシニアクラブ 綿貫 久和

日本に極端に「コロナ」による死者数の少ない理由の一つに、日本人の倫理感を挙げたいと思います。倫理という大げさですが、平たく言えば「人の道」です。われわれは非常識なことをすれば「世間様に笑われるよ」とたしなめられ自粛します。

国から自粛の要請がくだれば、その要請はすなわち「世間様」です。その要請に強制力や罰則がなくても我々は「世間様」に従うのです。世間様に笑われないように、「三密を避け」コロナの感染を防いでいるのではないのでしょうか。

会としては、安全及び高齢シニアであることを考慮して、しばらく休会とさせていただきます。「NSN歌声交流カフェ」も再開の目途が立っておりませぬ。

《活動未定》

四季会 桑原 義和

しばらくは、リスクを考慮して休会とします。

また、「ナンプレ(数独) 同好会」も当分の間、休止いたします。

八展会 熊谷 玄之

当会は本年に入って、1月6日企画の「羽田七穂荷巡り」を実施して以降、自粛の影響を受けて、2月12日観劇、3月27日花見、29日総会の予定企画は全て中止となりました。

2020年度に入ってからも集会が開催できないので、今年度の活動計画は未定のまま今日に至っています。

新エルフ 内藤 雄幹

先行きの見通しがつかないので、10月頃までは休会の予定です。

## 《6月から再開！》

トントンねのみ 武藤 哲

トントンねりまでは、2月の例会後、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3〜5月の月例会と行事を全て中止し、麻雀等会員有志間の交流も休止しました。この間は、メール・FAXでの連絡のみでした。

5月下旬の緊急事態宣言解除を受けて、6月2日に例会を再開。三密を避け、感染に注意しながら、参加可能な会員から活動を始めようということと一致し、早速6月9日に入間市のジョンソンタウンへ行ってきました。仲間とお喋りはやっぱり楽しいですね！



## 《コロナ禍のひとみ会》

ひとみ会 角地 徳久

ひとみ会の例会は毎月第1金曜日に行っている。4月3日の例会は緊急事態宣言の出る前だったが、総会を兼ね向山庭園和室で昼食付きで行つ予定だったので中止。5月の例会も中止。

緊急事態宣言が5月末に解除され、6月5日に例会を再開した。男性5名全員出席、女性は3名出席。マスク着用、間隔を空けて座り歓談が始まった。歓談は女性が中心だったが、男性も含め、話し足りなかった自粛期間中のうっ憤を晴らすように、次から次へと話が展開した。途中いつものように女性の出席者から手製の和菓子の提供もあり、久しぶりの例会は無事ゆやかに終了した。  
また、6月24日に  
四水会（ミニブリッジを楽しむ会）も再開した。



## 《ラインで繋がる》

虹の会 丸山 敏雄

出歩けない中、13年間の活動を写真集にして振り返ったかどうか、と案が出た。制作費が必要だが、会員の約8割がラインが出来るので、今年度の予算をライン上で可決し、20頁の「虹の会の歩み」が完成。それを見て思い出を共有すると共に「全然覚えてな〜い」というつぶやきもあつたが、まだ行こうと言つ感想が飛び交つた。

また日ごろの散歩で、思いがけない裏通りの風景や、道路での花を見かけると、それを写真で送って紹介し、感想を話し合っている。

さらに、「今何してるっ？」で、思いがけない一面を見せた会員もあり、ラインの効用をあらためて感じた。



## 《やっと開いた総会と定例会》

楽友会 下河 秀行



新型コロナウイルス感染症で、今年2月以来定例会や総会が出来なかつたが、去る6月11日（木）やっと待望の「総会」を開くことが出来、会員とは何んと4ヶ月振りの再会でも嬉しかった。お互いに元気を確認し合った。総会は年間でも最も重要な会議であり、今年度の「行事予定・予算書・役員改選」などを行つて無事閉会した。会員の皆さんに、コロナ期間中どう過ごしたかを聞きたかつたが時間がなく、次回に譲った。  
因みに私のコロナ休暇は、書斎の整理に空け暮れ、休業中の孫娘に全面的に手伝って貰い、古い書籍や書類を思い切って整理し、約半分位になり、お陰様で部屋がスッキリ片付いた。

## 《メール交換》

みんなの会 桂 幸嗣

2月22日に例会をしたが、その後は一切の行事を中止している。期間中は会員にご機嫌伺いのメール交換を実施した。

6月は例会を開催予定だったが、東京アラートが解除されていないからため、先日中止とした。早く安心して例会を開催したいものである。

## 《ひまわりの自粛》

ひまわり 大貫 雅弘

ひまわりとしての活動は4月から完全に休止しました。再開は6月8日からでした。お互いの安全確認、これからどうしようか？

マスクのつけ方が間違っているとかの話で盛り上がり、その他もちろんの情報交換をし、7月の定期会の日取りを決め解散した。



## 《再開》

一三の会 岡部 史生

2月の新年会を兼ねた例会を最後に休会としていたが、3ヶ月ぶりに6月例会を開催した。13名が出席し欠席が2名だったことから、多くの人がこれまでに培われた会員同士の仲間意識を大事にし、再会を楽しみにしていたことが判る。

役員等の改選時期だが、コロナの今年中の展開が不明なことから例外的に、本年度は全員再選とする。会として室内外を問わず、集団行動を行うことは当面行わないこと、会員各人には自粛期間中の様子などを話題として提供することを期待することを決めて散会した。早く皆で飲みたいなー。



## 《ZOOMで交流》

一笑会 浅見 眞一郎

定期会は3月から中断している。この間の活動は次の通り。

① メールリストによる情報交換（会員の8割参加）

② 休会期間が長くなり、次第に何らかの交流を求める雰囲気もあり、ビデオ会議システムZOOMを利用しての交流をスタートさせた。4月8人、5・6月と参加者が増え、現在は12人。乾杯でスタートし、全員顔をしながら和やかに進めている。最近のテレビのフイドショーと同様な画面である。

### 【ZOOM導入にあたっての

#### 経験談】

半数以上が後期シニアというハンデがあり、ITに不慣れのため、実施には紆余曲折があった。解決には次の手段をとった。

・自力で接続できた者、子供の手を借りた者、サポーターの力を借

りた者は、それぞれ1/3だった。

・接続できない者のために、サポーター2名が立ち上げ協力した。

・一人ひとりの個別に動作・接続確認（リハーサル）を実施し、全体会議に臨んだ。我々年代には、この個人リハーサルは必要。

・本番で余計なところを触ってしまい、上手くいかないこともある。

・トラブルは、音声・映像に関わるものが主体で、原因は各種あり。

・トラブル状況がサポーターに上手く説明できない。一方、サポーターは相手の画面が見えないので、状況が把握しにくい。

・サポーターには親切と根気、そしておせっかい人間が適している。

・使用時間：3人以上の会議は40分で回線断となるが、即再開可能なので40分ごとに水分補給やトイレタイムとしている。料金無料。

最後に、ZOOMにご興味のある方には、お手伝いいたします。

## 《紫陽花鑑賞》

いづみ会 井上 隆雄

都道府県間の移動解禁を受けて、6月20日に松戸市の本土寺の紫陽花鑑賞に出かけました。急な計画でしたが、参加者は6名と少人数でしたが、風食に立ち寄った食事処でそれぞれ正面にならないよう互い違いに着席し、まずはビールで乾杯。積もる話に花が咲き、小一時間があっという間でした。

例会・行事の自粛を続けましたが、やっと7月12日に例会及び総会を開催し、2020年度の新役員選出等を行うことができました。

## 《自粛総統》

COOL30 斎藤 義美

3月の月例会から活動の自粛をしております。会員の中ではそれぞれ個人的に情報の交換をしているようですが、会としての情報交換は特にしておりません。次回の月例会の開催も、まだ未定です。

## 《Withコロナでの

### シニアライフ》

ふたば会 鈴木 光夫

2月中旬の「豊洲市場・お台場と水上バスで浅草へ」の散策行事の中止から、ふたば会のステイホームは始まりました。感染すると重症化のリスクが高い我々高齢者は、社会に迷惑をかけないよう、活動自粛こそが最大の社会貢献と位置づけたのです。

緊急事態宣言が延長される中、早い段階で暑さ対策も含め8月まで活動を中止し、9月から全ての行事を再開することになりました。

Withコロナでは新しい生活様式のもと、NSNの神髄である仲間との絆を大切に、社会状況をよく見て、ゆっくりに急がず知恵を絞って活動していかうと考えています。



## 《今、出来ることを実行》

Rei 1 清水 隆博

「新型コロナウイルス感染防止のため、3密を回避」という制約の中で次の活動を行った。

①4月6日、「石神井松の風文化公園」内の野外ベンチで臨時役員会を行った。全員マスク着用、十分な距離を置いて着席の上、退会者への対応、それに伴う役員人事、NSN応募者への対応、並びに今後の活動方針を討議した。

②6月4日、オンライン・ヒアリングのアプリ、「Cisco Webex」のテスト・ランを行い、基本的機能が作動することは確認できた。問題点については解決方法を探求中。



## 《ラインと電話》

さわやか、17 橋本 直樹

2月21日以降、すべての活動が中止となり今日に到ります。メンバーの半数は、グループラインで情報交換しあっていましたが、他のメンバー間は、電話でのやり取りをしていた次第です。バス旅行も今年は見送る事になりました。

私自身は3月の頭から、コロナ禍にも関わらず2週間のバイクツーリングを楽しんだものの、帰って来るなり悪性リンパ腫を発症し、後半は闘病生活に突入してしまいました。今年中に治して来年に備えたいと思っています。

### 【編集後記】

新型コロナウイルスでの自粛により、各会であらためて仲間の絆の大切さを感じたことと思います。この経験を共有し、新たな力にしていきたいものです。

OE